



医学・看護学教育通信

第 11 号

発行 2008.7.7

Medical and Nursing Education News

講義室省エネの取組

佐賀大学では地球環境問題に積極的に取り組む姿勢として、平成20年3月にエコアクション21の認証を取得しました。認証取得に当たっては、皆様にご協力いただきありがとうございました。しかし、一度認証を取得したからといって、自動的に更新されるものではなく、毎年審査を受けなければなりません。

19年度のエネルギー消費を分析してみますと、電力使用量の削減が不十分でした。医学部の各部署の電力使用量を見ますと多くの部署で減少が横ばいの中、講義棟では10%の増加が目立ちます。特に8月、9月、2月の増加が目立ちますので過剰な冷暖房がなされていると思われます。講義室やPBL室での使用は、冷やしすぎ、暖めすぎがないようにお願いします。

今回、鍋島キャンパス冷暖房規則が策定されました。冷房使用期間は7月1日から9月30日まで、温度は夏季28度、冬季20度を目安にしてください。電力使用が多くなると、授業中でも放送が行なわれるようになります。エアコン等のスイッチを切ったり、温度調整もよろしくをお願いします。(市場正良)

平成20年度医学科入学生におけるバリエーション(進級基準)

医学科では、平成19年度以前の入学生に対しては、2年次末と4年次末に、それぞれ3年次、5年次への進級について判定が行われています。平成20年度入学生(医学科1年生)からは、既に4月のオリエンテーションで説明していますが、平成20年度からカリキュラムが改訂されたことに伴い、1年次末、2年次末、4年次末にそれぞれ進級判定を行うこととなっていますので、今回は、新たに

1年次末に行われる進級判定について説明しておきたいと思えます。

「佐賀大学医学部試験の実施等に関する取扱要項」において、医学科の第2年次に開講される授業科目を履修するための資格要件として、「第2年次に開講される授業科目を履修できるのは、第1年次の学年末までに開講される科目のうち、別表1に定める授業科目及び単位を修得した者」とし、「前項により資格を認められなかった者は、原級に留まり、未修得の科目を修得しなければならない」と規定されています。別表1に定める授業科目及び単位数は、大学入門科目1科目(4単位)、外国語科目2科目(6単位)、情報処理科目2科目(3単位)、専門基礎科目6科目(11単位)、基礎医学科目4科目(9単位)となっています。区分ごとに科目数、単位数を定めていますが、早い話が、**1年次で開講される科目については、主題科目と医療入門を除き全ての科目の単位を修得しなければ2年次に進級できない**ということです。従って、**たった1科目でも、たったの1単位でも落とした場合には、即「留年」ということです。**

万が一、留年した場合は、不合格科目を再履修(再試験のみの場合もあります)し、合格するまで2年次には進級できません。

また、佐賀大学学則第7条2項ただし書きにより、「1年次2年次の在学期間は、通算して4年を超えることができない」となっていますので、この点も忘れないようにしてください。

それから、3年次、5年次への進級要件についても、学習要項の佐賀大学医学部試験の実施等に関する取扱要項に記載してありますので、必ず目を通しておいってください。

(田崎法人)

教育広報部会

小田康友、池田豊子、市場正良、吉田和代、
江村正、藤田君支、田崎法人
ご意見をお待ちしています(oday@cc.saga-u.ac.jp)

